

授業情報/Class Information

授業基本情報/Course base information

科目コード /Subject Code	AT503500	ナンバリング /Numbering	LAOTH1058-C
科目名 /Subject Name	鳥取を知る		
英文科目名 /Subject English Name	Understanding of Tottori		
担当教員 /Teacher Name	桐山 聡		
クラス /Class		開講学期 /Semester	後期
対象学年 /Lectures Target	1,2,3,4	開講時期 /Quarter	後期
講義室 /Room	共通教育棟C51講義室	科目区分 /Subject Classification	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	月 3	単位区分 /Unit Classification	選択
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Unit Count	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	本科目は、地域の方が聴講できる公開授業講座ですが、全ての授業回を公開するものではなく、非公開としている授業回があります。		

授業概要情報/Course description

担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room	教育支援・国際交流推進機構教養教育センター・共通教育棟B棟3階 S3030号室
オフィスアワー /Office Hours	木曜日の12:00~13:00 (感染症の警戒レベルによってはGoogle Meetにて対応します。)
担当教員への連絡方法 /Contact Details	e-mail: kiriyama■tottori-u.ac.jp, (注) 左記の■を@に変えてください。 本学の学長・理事・学部長からは、鳥取大学から見た「鳥取」の魅力を学びます。 学外の多彩な講師陣からは、歴史・文化・社会・自然など様々な観点・視点から、「鳥取」を多角的・総括的に学びます。 講義を通して鳥取の魅力を再認識し・再発見します。
授業の目的と概要 /Course Description and Outline	レポートをまとめるにあたっては、あらかじめ附属図書館で借りることができるレポート作成のための参考書を読むか、附属図書館がmanabaで公開している「レポートの書き方講習会」を視聴しておいてください。 また、レポート中にて自分の意見や主張を記す場合、その根拠となる資料を挙げる際には、必ずおおもとなる文献や書籍などの一次資料を挙げてください。
キーワード /Keywords	鳥取、鳥取大学、自然、産業、文化、行政
到達目標 /Objectives	鳥取を知ることにより鳥取大学で学ぶことの意義を理解できること
他の科目との関連 /Prerequisite	直接関連する科目はありませんが、「地域創生推進プログラム」の中の「地域志向科目」群の一科目として位置づけられています。 「鳥取学」修得者、「鳥取大学を知る」修得者は履修不可です。
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography	特に無し
授業の形式 /Classwork	講師陣によるオムニバス講義形式
成績の評価方法と基準 /Assessment	講義の理解度を毎回のミニレポート(計14回分)によって評価します。レポートの評価基準は、各講師から提示されます(各5点×14回=70点)。

到達目標である「鳥取を知ることにより鳥取大学で学ぶことの意義を理解すること」を、最終レポートで評価します（30点）

担当教員からのメッセージ
/Message from the Teacher

講義の出席確認は、毎回提出するミニレポートおよび最終レポートにより行います。

「鳥取学」修得者、「鳥取大学を知る」修得者は履修不可。

授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）
/The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.

本科目を受講して得られる知識や能力は、本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。

教育グランドデザインとの関連
/Educational Grand Design

現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）
人間力（高い倫理観と市民としての社会性）

ディプロマ・ポリシーとの関連
/Diploma Policy

本科目を受講して得られる知識や能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定める「学生が本学における学修と経験を通じ身につける能力」のうち、以下に該当します。

3 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心を持ち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力

実務経験
/Work experience

無

実務経験と授業科目の関係性
/Relationship between the work experience and the course

実務経験との関連：オムニバス形式として、鳥取県職員、鳥取県警察本部、元鳥取県知事・元総務大臣を講師に招き、その経験を生かして、歴史・文化・社会・自然など様々な観点・視点から、「鳥取」について多角的・総括的に講義していただく。

授業計画詳細登録/Course schedule

回 /Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1	鳥取県における海岸食・砂浜保全 —始まりから現在、そして将来— 【概要】鳥取県は保全海岸工学発祥の地、古くから海岸侵食問題で有名であり、砂浜保全に対して国内でも先駆的な事業を実施されている。鳥取県の砂浜の問題について紹介する。【キーワード】鳥取砂丘、海岸侵食	予習：キーワード「鳥取砂浜」について調べておいてください。	工学部教授 黒岩 正光 (10/7)
2	工学の視点から鳥取のエネルギー &環境の将来を考える 【概要】我が国が掲げる2030年二酸化炭素大幅削減や2050年カーボンニュートラルの目標に対して鳥取県はどのように取り組むべきかを工学の視点から述べます。【キーワード】二酸化炭素削減、脱炭素化、カーボンニュートラル、一次エネルギー、二次エネルギー、自然エネルギー、蓄電池、ZEV、EV、PHEV、FCV、スマートシティ	予習：キーワード「エネルギー&環境」について調べておいてください。	工学部長 坂口 裕樹 (10/15) ※ 公開授業の対象外です
3	鳥取の海を知る 【概要】本講義では、鳥取県が日本海に面することでもたらされる水産・海洋資源および海岸部の観光資源について学び、鳥取県の特徴ある産業について知識を身につけ、さらなる学びのきっかけとすることを目標とする。【キーワード】境港、カニ、マグロ、ギンザケ、山陰海岸ジオパーク、メタンハイドレート	予習：キーワード「鳥取の水産資源」について調べておいてください。	地域価値創造研究教育機構教授 清水 克彦 (10/21)
4	鳥取大学の特色ある研究 【概要】日本の中で人口最少県である鳥取県で唯一の国立大学法人鳥取大学が目指している研究の特色、すなわち地域の持続性や発展に貢献する特色ある研究とそれを支援する仕組みについて紹介します。【キーワード】持続性、研究、支援システム	予習：キーワードについて調べておいてください。	理事（研究担当、IT担当）・副学長 河田 康志 (10/28)

回 /Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
5	<p>鳥取県の農林業と鳥取大学</p> <p>【概要】鳥取県は梨、スイカ、白ネギ、ラッキョウ、シバなど多数の農産物の産地となっています。一方、鳥取大学農学部は前身である鳥取高等農業学校の創設から百年の歴史があり、この間、常に現場主義をモットーに鳥取県農業を支える研究を続けています。その内容と技術開発の過程を紹介します。【キーワード】鳥取県農業、再生紙マルチ、ラッキョウ収穫調整、芝収穫</p>	予習：キーワードについて調べておいてください。	理事（教育担当、国際交流担当、基金担当）・副学長 山口 武視（11/6）
6	<p>鳥取におけるきのご研究</p> <p>【概要】鳥取大学農学部では、乾燥地農学、鳥インフルエンザ、日本梨およびきのこなど、特色ある研究を展開しています。今回はその中の1つであるきのご研究について紹介します。研究の歴史や現状についてわかりやすく解説します。【キーワード】きのこ、遺伝資源、シヨウロ、シイタケ、種菌製造</p>	予習：きのこの種菌について調べておくこと。	農学部長 明石 欣也（1/11）
7	<p>鳥取県の無形文化財～文化財として工芸技術をみる～</p> <p>【概要】地域の文化・観光資源として取り上げられることが多いこの分野を、鳥取県の貴重な文化財という観点から、県内で活動している無形文化財保持者・団体の特徴、製造工程、現状などを紹介する。【キーワード】無形文化財、伝統工芸、民藝、手仕事、地域ブランド</p>	予習・復習：県HP「とっとり文化財ナビ」「ととりの手仕事」やGoogle「日本の匠 鳥取県」サイトを閲覧しておくこと。	鳥取県地域社会振興部文化財局副局長兼とっとり弥生の王国推進課課長 中森 祥（11/18）
8	<p>民具からみる鳥取の技術と暮らし</p> <p>【概要】民具とは人々が日常生活の必要性から製作、使用した用具である。鳥取県内に保存される1万点以上の民具からは人々の高い技術と自然を利用した暮らしを知ることができる。近年、文化財に指定された民具とその特徴から高度経済成長期以前の複合的生業の実態について述べる。【キーワード】民俗学、民具研究、有形民俗文化財、複合生業論</p>	予習：神奈川大学日本常民文化研究所「民具を語る」の映像を参照 http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/exhibition/mingu/	鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課文化財保護担当係長 櫻村 賢二（11/25）
9	<p>地域の歴史を知る</p> <p>【概要】自ら生活する地域の歴史をどのようにとらえたいのか。近世近代に作成された地誌・案内書を手がかりに講義する。あわせて、鳥取大学の沿革にも触れるようにする。【キーワード】地域史、地誌、鳥取大学</p>	予習：キーワードについて調べておいてください。	地域学部長 岸本 寛（1/2/2）
10	<p>最強の海城・米子城</p> <p>【概要】鳥取県が因幡国・伯耆国と呼ばれた頃、県内には500ヶ所もの城がありました。そうした築城技術の到達点ともいえる近世城郭・米子城が「日本最強の城」に選ばれました。講義では、なぜ最強の城なのか、その歴史と構造の特徴を解明するとともに、現在の米子市発展の礎となった城下町の成り立ちについて探ります。最強の海城・米子城の魅力を考えてみましょう。【キーワード】米子城、吉川広家、海城、城下町</p>	予習・復習：とっとり文化財ナビ ↓※参照のこと http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm	米子市経済部文化観光局文化振興課専門官 中原 斉（12/9）
11	<p>医療を作る人材育成と研究</p> <p>【概要】現在の医療を支え、未来</p>	予習：キーワードについて調べておいてください。	医学部長 景山 誠二（1/2/16）

回 /Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
12	<p>の医療を作るために、医学部教育、大学院教育、さらには海外関連施設における人材育成を紹介し、教育のツールとしての研究、未来の医療を作るための研究について議論する。加えて、コロナ後の感染症対策の枠組みの変化について触れる。【キーワード】医学の歴史、医療倫理、医学とは何か、鳥取大学医学部"</p> <p>『古事記』という日本最古の歴史書にも載る鳥取の<因幡のシロウサギ神話></p> <p>【概要】太安万侶(おおのやすまろ)による『古事記』は712年(和銅5)に完成。上中下の上巻は神話の世界。また三分の一は出雲神話と呼ばれオオクニヌシを中心に鳥取にゆかりのシロウサギ神話が語られている。さらに東部や中部の大山麓にもパリエーションが残る。</p> <p>薬の歴史も関与した神話の謎を追究し地域の魅力を再発見したい。</p> <p>【キーワード】古事記、日本書紀、出雲国風土記、因幡の白兔、ワニ、猪、オオクニヌシ、スサノヲ、八上姫、隠岐島、大山</p>	<p>予習・復習：(参考書)『大山に魅せられた神話と伝承』門田著(鳥取出版企画室)</p>	<p>鳥取大学名誉教授 門田 眞知子 (12/23)</p>
13	<p>鳥取の治安を守る</p> <p>【概要】鳥取県内の治安情勢や鳥取県警察が行っている活動、施策等について学ぶ【キーワード】県民の期待にこたえる警察、安全で安心な鳥取県をめざして</p>	<p>予習：キーワード「鳥取県警」について調べておいてください。</p>	<p>鳥取県警察本部長 半田 新一朗 (1/6)</p>
14	(未定)	<p>予習：鳥取県の行政の特徴について、あらかじめ調べておいてください。</p>	<p>大正大学教授/地域構想研究所長・鳥取大学客員教授 片山 善博 (1/20)</p>
15	<p>鳥取大学のこれまでとこれから</p> <p>【概要】鳥取大学は日本一人口の少ない鳥取県にある唯一の国立大学である。前身校を含めて鳥取大学が鳥取県の中でこれまでどのように歩んできたのかを解説する。また、グローバル社会や情報基盤社会など社会の仕組みが大きく変化する中での日本の高等教育のあり方を論じつつ、人口減少、少子高齢化、産業の空洞化が進む鳥取県において鳥取大学が進むべき方向を考える。</p>	<p>予習：学長との意見交換会のため、予め質問を考えてくること(事前に質問票に記入してもらいます)。</p>	<p>学長 中島 廣光 (1/27) ※ 授業後半は学生との意見交換会のため、非公開となります。</p>

閉じる/Close